

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・一品単価は下がっているが、販売点数が大幅に伸びているため、今後もそのような傾向で、少しずつ良くなっていく。
		コンビニ（エリア担当）	・国体効果を期待している。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・商品の動きが非常に良い流れになっているので、今後秋物から冬物への動きもスムーズに移行できる。
		百貨店（営業担当）	・バーゲンや催事を実施したときに確実に反応があり、消費者の財布のひもは緩みつつあるようだ。
		乗用車販売店（経営者）	・現在の商談ベースが少し早くなったような感じを受ける。一過性のものかもわからないが、雰囲気的にはちょっと動き始めているのかなという感じを受ける。
		乗用車販売店（統括）	・夏枯れが心配であるが、秋に向けては上がっていくように思う。自社商品に目新しさはないものの、他社製品の流れや購入者の購入決定時期が昔のように決まっていなかったことから動き自体はあるのではないかと。
		自動車備品販売店（経営者）	・逆に悪くなる要因も見られず、現在の動きから判断すると堅調に推移する。
		都市型ホテル（経営者）	・9月までは愛知万博などの影響で厳しい状況が続くが、10月の客室の予想では久しぶりに前年並みの数字で、料理飲食部門においても婚礼の受注件数が現時点で前年を上回っている。
	通信会社（企画担当）	・ADSLから光ファイバーへの移行の流れが今年後半より明確にでてくるのではと思えるため、単価上昇 売上増加さらにアプリケーション商品売上の増加が徐々に期待できる。	
	通信会社（総務担当）	・郵政民営化法案が可決されれば、その動きに合わせて市場も活発な動きを見せる。	
	競艇場（職員）	・宮島の本場レースと他場のナイターレースによる併用発売の日程が多いため集客効果が見込める。	
	変わらない	商店街（代表者）	・特に島根の場合産業がないので、公務員の給料とかが非常に大きなウエイトを占めるがこれが下がっている。それと愛知万博の影響がかなり出ているのではないかと。
		一般小売店 [印章]（営業担当）	・全国的には上向きとは聞いているが、会社設立の印鑑等の注文が最近少ないので、若干危惧している。
		百貨店（営業担当）	・残暑が予想され、売上を嵩上げする秋物の動きが昨年同様心配である。売れ筋の夏物Tシャツやカットソーは、在庫薄になっており、売上の確保が難しくなる。
		百貨店（販売促進担当）	・例年8月は売上が落ち込むので多くは期待できない。また、この暑さが続けば秋物の伸びも期待できない。
		百貨店（販売促進担当）	・公務員の給与5%カットも継続しており、紳士中心に影響がでてきており、このままでは秋冬についても、大きな期待はかけられない。
		百貨店（売場担当）	・セール初日からの土日の雨が響いたのか、後半になり来客数が減った。今後も買い控えが予想される。
		百貨店（売場担当）	・シーズンレス化が進んでいるなか、秋口といった端境期の商売が非常に難しくなってきた。客の購買意欲をくすぐるヒットアイテムがなかなか出てこない。
百貨店（売場担当）		・夏物商品も終わってきて、バーゲンも終了して、秋物商品が入荷してきているので、来月になったら秋物のほうの動きが良くなる。	
百貨店（購買担当）		・今年の秋冬物は、素材やスタイリングともに上質感を漂わせていながら、価格は前年並との情報が入ってきている。春夏の客の買い方をみると、経済的に大変な事柄が起きなければ、衣料品関係は先月、先々月同様にうまくいく。	
百貨店（販売担当）		・秋冬物の主力商品であるブーツの動きが不透明であり、これといった新しいトレンド商品も出ていない。	
百貨店（売場担当）	・前年を上回っている要因は、前年の台風や長雨による売上減である。1月、7月のセール期のみが売上が上がるといった構図が固まってきており、取引先の収益を圧迫しており、今後も大きく改善されるということはない。		

スーパー（店長）	・中小建設業の特に多い地域において、大幅な公共事業の減の影響は人員削減、ボーナスカットなど多々あり、また今後とも続くと思われ、またガソリンの値上げなど消費マインドの上向き状況になり得ない。
スーパー（店長）	・このところの原油高により、資材のコストアップが続いている。スーパーの買物袋等原価がかなり上昇してきており、130%くらいのコストアップになっているので、その辺を含めてコストアップを売上高で吸収することが難しくなっている。またそれに関連して自家発電の重油の値上がり等もあり、なかなか最終利益が現状よりも上昇するとは考えにくい。
スーパー（店舗運営担当）	・国体開催による経済効果はある程度期待はしているが、現状、各社とも販促強化に努めるため、客の買い回り現象に拍車がかかってくる。従ってかなり強いストアコンセプトの打ち出しが必要になるのではないかと。
スーパー（販売担当）	・こちらの店の方が競合店より安いような気がするが、ポイントとかにつられて、競合店に行ったり、こちらに来たりする。買い回りが続くのでなかなか変わらないのではないかと。
スーパー（管理担当）	・当地の基幹産業である建設業が、縮小する傾向が止まらない。当地の購買力は低下していくとみられ、当分この傾向が続く。
コンビニ（エリア担当）	・今後ディスカウントストアの出店がかなり見込まれていて、そうすれば地域の平均単価が下がってくる。それによって、取引ベースが上がり、売上は上がるかもしれないが、利益が出ない。現状のように厳しい状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・厳しい競合状況は変わらないし、客単価のアップも望めない。明るい材料がない。
衣料品専門店（店長）	・3か月～半年前から、単価にしても、物にしてもプラスアルファの買物をする客が少ないということから変わらないと判断した。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・前年以上売れている。また安定しており、しばらくこの状態が続く。
家電量販店（店長）	・季節ものを中心に非常に好調に推移しているが、この季節物商品が長続きするかというとなかなか難しい。それを差し引いたらあまり先月と変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・今後、秋に新型車の発売があり、期待しているが、これまでに自車客の台替えを前倒しで相当行っており、今後大幅な販売増は望めない。
自動車備品販売店（店長）	・今月はボーナスの月ということもあり、昨年までとは違い、販売量が非常に増えている。個人消費が上向きになっているのかなとも感じるが、ボーナスが終わった後どうなるかわからない。
住関連専門店（広告企画担当）	・単価のダウンもいまだ進行しており、価格競争もまだ続く。家具で、単価の低いものは中国製品しかありえない。国内の商品が売れない限り景気は良くなる見えない。
その他専門店〔書籍〕（従業員）	・夏休みに入り客足が戻っている。今後この状態がしばらく続く。
一般レストラン（店長）	・仕入れ価格の高騰が続き、仕方ないので売価を上げざるを得ないので、8月より苦肉の策で売価アップする事になった。客の反応も怖いけど仕方ない。
その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・短い期間に値段の変更をしており、客への不信感に繋がらないか心配している。客数の伸びが若干後退し、客単価の下落が縮小し売上はあまり変わらないのではないかと。
都市型ホテル（従業員）	・秋口は学会の受注が好調であるが、その他の予約状況は厳しい。
通信会社（経営者）	・客の反応も厳しいままであり、好転の兆しは見えないまま、推移している。良くなる兆候も見えない。
通信会社（販売企画担当）	・当面は、新商品の発売もないことから市場が若干冷え込むと思われ、販売量は横ばいとなる。
通信会社（営業担当）	・価格競争が激しいため、このままの状況がしばらく続く。
通信会社（通信事業担当）	・秋のキャンペーン開催の時期が毎年恒例になってきているので、この時期のお客様の反応はシビアになってきている。
テーマパーク（財務担当）	・現在の状態を変えられる要因が、現状では見当たらないため、良くなる見込みはない。国体等も開催されるが、どの程度の影響があるかは不明である。

	ゴルフ場（営業担当）	・予約状況からしてみれば、悪くなっているが、間際になって予約が入ってくる傾向にある。客の様子からして景気が下げ止まったようにも感じられる。
	美容室（経営者）	・毎年、7月、8月は割と忙しくて秋にかけて少し暇になる業種なのだが、7月はそうでもなかった。8月忙しくならなければ9月、10月の落ち込みが激しくなる可能性が高い。
	設計事務所（経営者）	・全体的に、公的、民間の投資傾向が非常に低迷している関係上、我々の業界としてはまだまだ低迷が続くと判断せざるを得ない。
	設計事務所（経営者）	・今後も公共工事の発注は見込めない。民間も一気に契約件数が増えるとも思えない。
	住宅販売会社（従業員）	・来場者数の推移を見るかぎり、回復の兆しは今しばらく見られず、現在の状況が続いていく。
	住宅販売会社（経理担当）	・新規物件の発売が数棟予定されているので、契約戸数は増加する。
やや悪くなる	スーパー（店長）	・商圏内に大型店の出店があり、前年割れをしているが、今後競合店の出店が予定されており、客数等に影響が出てくる。
	スーパー（総務担当）	・買いやすさを打ち出すため、少量パック・ばら売り等の施策、競合店対策の値合わせによる双子の単価下落要因があるものの、客数の伸びと比べて販売点数の伸びが低い状態が今後も続く。
	住関連専門店（営業担当）	・家具の場合、新築、婚礼というのが大きな要素を占めるが、1年位前から新興住宅もしくはマンションのラッシュがあったが、大体落ちついてきている。また現状の競合店とのからみで客数の減少もあり、それとあいまって購入客、特に新築の客が若干減る傾向にあるので、現状よりは落ち込んでくる。
	その他専門店〔時計〕（経営者）	・ジュエリーの材料である金、プラチナが値上がり傾向で、製品は品薄の値上がり傾向にあって、客の買い物気分を冷やす。
	高級レストラン（スタッフ）	・月によって波があるが、婚礼、一般の宴会とも今後の予約状況は、前年に比べてもかなり少ない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・競合相手の新規進出があり、客の一部が流れていく。
	タクシー運転手	・現在接客をしていて、良くなった業種についての話題が一つ、二つでも出てくれば、先々明るくなるだろうが、残念ながらこの地域においては、そのような話は聞けない。
	設計事務所（経営者）	・建設業についての行政改革が全く進んでない。発注件数は、少なくなる一方で、規制は強化の一途である。
悪くなる	旅行代理店（経営者）	・この9、10、11月に岡山で国体が開かれる。その準備であるとかその競技中であるとか、そういうものが重なって、岡山の人が外へ出る機会が非常に制約をされる。
	テーマパーク（広報担当）	・2、3か月後には来年度からの指定管理者制度に向けて本格的に動き出す。第一に経費節減が求められ、広報費が減少し、結果として来園者減につながる。
企業動向関連	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・現在も操業度は非常に高くなっているが、さらに高くなることが、顧客からの内示でわかっている。活況はよいが、注文をこなせるかどうかの瀬戸際となりそうである。
	輸送業（総務担当）	・客の受注量がまだまだ増える見込みである。よって業界の景気が良くなる。
やや良くなる	電気機械器具製造業（広報担当）	・受注が確保できる見込みにある。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・自動車関連は引き続き(欧米・中国・国内)高止まりの受注が入っている。また欧米も昨年に続き猛暑となっており国内とともに、エアコン関連の人員増強により対応せざるを得ない状況となりそうである。
	建設業（営業担当）	・特に製造業における設備投資が実施に向けて動き出す方向になりそうである。また不動産が具体的に動き始める様子がみられる。
	建設業（経営企画担当）	・8月、9月は例年、受注は増加する時期であり、また現在までの受注量は前年同月と比較すると約2倍となっているので、今後2～3か月後の受注量は期待できる。
	輸送業（統括）	・10月から新規に始まる業務が3件、また来年1月から2件の新規業務が確定しているので現状よりは上向きとなる。

		通信業（営業企画担当）	・SOHOやコンシューマレベルの情報通信需要においても大容量、高速伝送の特性を活かしたコンテンツや電話機能など、光ファイバー利用ならではのサービス拡充が進められており、これらは企業のIT化促進にも好影響を与える。
変わらない		化学工業（総務担当）	・物流費や原燃料費高等の影響はあるものの、当面現状を維持する。
		鉄鋼業（総務担当）	・欧米ならびにアジアとも先安感があり、特に汎用品の市況が軟化している。各社とも市況を維持するために、7～9月で減産を実施する予定がある。
		金属製品製造業（総務担当）	・受注量は今後3か月先も好調に推移すると思われる。ただし、その受注を牽引している輸出であるため、テロや為替などの外的要因が景気に水を差さないように期待する。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・自社製品の売上は国内、海外ともに順調であるが、生産資材の高騰について、回復の兆しがみられない。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・原油高で材料や光熱費等が上がる一方、値上げはまったく見込めない。また販売不振のため、値段は据置きでなおかつ加工工程が複雑な新商品の投入が多く、作ってももうからない商品の割合が増加している。一方で中国の人民元の切上げで、仕入部品の高騰も見込まれる。
		通信業（社員）	・各企業とも予算面で厳しいものがある。現段階ではお客様からの受注は営業展開においては大変厳しいものがある。今後、景気が良くなって好転するとはまだまだ感じられない。
		金融業（営業担当）	・山口県宇部市の中核となる企業はセメントを除き良くなっているという話は出ている。それによって実際の仕事が出ているかということ、現場はそうではない。ただ本体が良くなるということで、心理的に上向きになってきているということはある。 ただ建設業に目を向けると宇部市のマンション等の建設も出ているが、どこもかしこも下関からきて安い価格で受注している。ただ競争に勝って宇部市の地元の業者が下請で入ってくるということもみえてきている。
		金融業（業界情報担当）	・米国の金利上昇や原油価格の高止まりなど不安材料は残るが、当面の受注は現状レベルを維持する見込みである。設備投資・雇用も引き続き積極的に実施予定である。
やや悪くなる		不動産業（経営者）	・まだ一向に土地の値上がりがない。逆に地価の降下状況が非常に進んでいる。そして、借りる客が、なかなか景気が上向いていないがために入居希望者が一向に増えない。むしろ若干減る傾向にある。
		その他サービス業〔清掃具レンタル〕（情報管理担当）	・高所得者・高齢者層の客を中心に、掃除の家事代行サービスは今期も110.5%と高い成長を維持している。その反面レンタル事業が落ち込み（30代・40代の解約増加）全体としてマイナス成長である。新規事業を積極的に導入し、手間の掛かる商品を取扱い、組織にお金と時間（教育）をかける加盟店でないと成長できなくなった。その分大幅に利益が減少する傾向が続く。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量や生産高の減少と購入資材価格の高止まり、あるいは人件費や社会保険料の負担増などで採算は悪化し、状況は悪くなる。
悪くなる		食料品製造業（総務担当）	・夏になり例年同様、魚肉練り製品の動きが悪くなっている。その上に原料の高騰と重なり、すり身の高騰が相変わらず続いている。従って安売りが出来なくなった状況で、6月などは前年比の90%の売上に推移している。このままで秋シーズンまで売上が継続すると資金繰り面でも非常に厳しい。
雇用関連	やや良くなる	求人情報誌製作会社（支社長）	・求人数の動き、件数が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・企業が積極的に中途採用をしだしており、人材紹介や紹介予定派遣の需要が高まっている一方で、従来活発であった人材派遣のニーズはあまり増えていない。
		職業安定所（職員）	・求人関係は、好調であるが、大量の人員整理が予定されており、求職者の増加が見込まれるため、求人倍率が低下する。
		職業安定所（職員）	・雇用面においては、団塊世代の大量退職を控え、大手企業にも人材を確保する動きがみられるが、その反面中小企業においては、募集をしても応募が無いといった状況が生まれつつある。

	職業安定所（雇用開発担当）	・中元期の臨時求人はあるが、特定業種からのまとまった求人は無く、新規求人数は減少したが、新規高等学校卒業生対象求人は、昨年より増加。このため当面雇用状況に変化はないと判断した。
	民間職業紹介機関（職員）	・正社員の求人数はやはり多い。しかし、その採用基準は相応に高くなる（企業から見たら当たり前であるが、安定雇用を求める現状の求職者から見ると高すぎる）ため、安定雇用者数が増えない。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・求人受理件数や採用内定者数の推移から景気の復調を感じるのには難しく、やはり足踏み状態が続くことが予想される。地域経済を好転させるような起爆的材料も乏しく、従って雇用の拡大もしばらくは難しい。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・求人全体では特に明るい材料もないため、横ばいで推移すると思われるが、内容は非正規雇用や有期雇用契約での求人が益々目立つようになる。また、原油高の業況への悪影響を懸念する声が聞かれるようになっている。
悪くなる	-	-